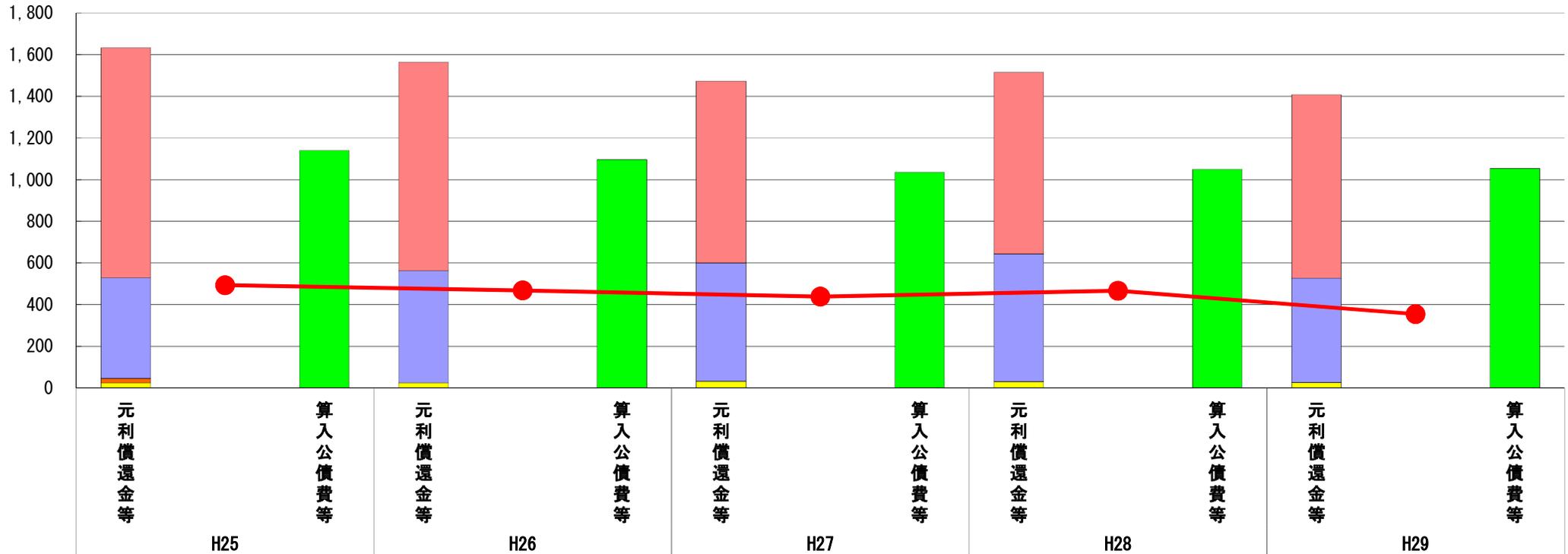


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

北海道芦別市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等(A)	元利償還金		1,104	1,001	873	871	881
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		483	539	568	614	501
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		22	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		24	24	32	30	26
	一時借入金の利息		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,140	1,096	1,035	1,049	1,054
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		493	468	438	466	354

分析欄

近年の実質公債費比率の分子は横ばいで推移しており、新たな起債借入に当たっては、過疎対策事業債等の交付税に算入される起債とするなど分子の抑制に努めている。
 今後とも緊急度や住民ニーズを的確に把握した事業の選択と集中により、世代間の負担の適正化や将来にわたり持続可能な財政基盤を構築できるよう努める。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。